

議会だより

なかさつない



小・中学生が防災訓練に参加

9月定例会

補正予算	P 2～3
決算審査	P 4～9
一般質問	P 10～13
各種委員会の委員、条例改正、報告など	P 14

議会報告、中学3年生議会傍聴、編集後記など P 15～16

～プレミアム商品券や 福祉灯油支給などの補正予算を可決～

中札内村議会9月定例会は、9月4日に招集され、会期を13日までの10日間とし、4日には意見書2件、報告1件、条例の一部改正や補正予算などの議案9件を審議し、原案どおり可決しました。

8日には3人の議員が一般質問を行いました。

11日には請願1件を採択した後、令和4年度各会計決算の認定6件について、12日までの2日間、本会議で審議し、全て認定しました。

会期を1日残して12日に閉会しました。

補正予算

一般会計で4437万円、介護保険特別会計で1917万円の追加補正がされました。

また、簡易水道事業会計では支出で799万円の追加補正、公共下水道事業会計では収入で22万円の減額、支出で2万円の追加補正がされました。

補正内容と質疑の主なものを掲載します。

一般会計

歳出

●まちづくり推進費

・ふるさとづくり事業補助金

150万円

交付実績増に伴い、今後の申請見込額分を追加しようとするもの。

★戸水議員

問 これまでの実績と今後の見込みを確認したい。

答 現在5件の申請があり、今後の見込みについては、1件の相談を受けている。

●社会福祉一般経費

・法外援護（福祉灯油）

480万円

支給額を2万円まで引き上げて支給するため、追加しようとするもの。

★船田議員

問 物価が高騰し、燃料価格も高騰している中、限度額の見直しについての見解を確認したい。

答 将来的に状況によって見直すこともあり得るが、現段階では上限額を引き上げるとは考えていない。



●新型コロナウイルスワクチン

接種事業費

449万円

新型コロナウイルスオミクロン株対応ワクチンの秋開始接種分の医療機関が行う接種体制確保等の費用を追加しようとするもの。

●商工振興費

・地域応援プレミアム

商品券事業補助金

725万円

物価高騰緊急対策及び冬期間の消費活性化対策として、商工会が実施する地域応援プレミアム商品券事業に対し、プレミアム率30%分及び事務経費分を助成しようとするもの。

★福原議員

問 前回はいろいろな反省点（販売時期、額面など）があったと思うが、前回からの変更点を確認したい。

答 1セットを5000円、1人2セットまで購入出来るようにしたいと考えている。今回は40%であったプレミアム率を今回は30%とする。

利用期間は10月30日から令和6年3月31日までとして、冬期間も長く利用できるようにしている。購入の予約制に変更はないが、販売期間中の日曜日（1回のみ）も購入できるようにする。

★宮部議員

問 若く所得の低い方々に対するPRの方法を考えていく必要があると思うが。

また、今回もガソリンスタンドでも使えるようにするのか。

答 商工会と連携しながら、既存の方法以外に、若い方の目につく場所にポスターを掲示するなど調整していきたい。

今回も前回同様の店舗で使えるように調整しながら取り進めたい。



プレミアム商品券ポスター

●スクールバス運行管理費

・修繕料

50万円

バスの老朽化に伴い、修繕箇所が多かったことから、今後の修繕見込み分を追加しようとするもの。

★戸水議員

問 修繕の内容を確認したい。

答 当初予算の50万円は、すでにエアコンやクラッチの修繕で使用している。更新予定のバス以外の3台も古いバスであり、今後の故障に対応するために追加補正する。

令和5年9月定例会



上札内自然観察園の散策路（左：木造パーゴラ、右：木道）

●社会教育施設管理費

・上札内自然観察園木道等

撤去委託

49万円

木道及び木造パーゴラについて、経年劣化による腐食で利用が困難となっていることから、撤去しようとするもの。

★福原議員

問 撤去後の開通の見通しはあるのか。

答 バーク舗装した散策路は利用できるようにするが、今回撤去する木道部分については散策路としての用途を廃止しようと考えている。

●中札内交流の杜管理費

・一般備品

1100万円

購入から15年が経過した自走式芝刈機の五連リールモアに不具合が生じていることから更新しようとするもの。

また、機械納入までに長期間を要することから、繰越明許の設定を行おうとするもの。

★木村議員

問 平成20年度に購入した芝刈機と比べてどのぐらい値段が違ふのか。

答 更新計画は出されていたのか。現行の機械は、明確には分らないが、当時約600万円弱で購入している。

更新計画については、もう少し使えろと考えて先延ばしにしていたことから、まちづくり実施計画には載せていない。

◎繰越明許とは？

経費の性質や予算成立後の何らかの理由により、年度内に支出が終わらない見込みであるものについて、議会の議決を得て、翌年度に限り繰り越して使用できるようにすること。

★北嶋議員

問 他のメーカー等の機種を検討したのか。また、三連の機械は検討したのか。

答 2、3社が取扱っているが、同様の金額であることを確認している。

三連の機械では次の大会までに芝刈りが間に合わないということもあり、五連の機械を選定した。



交流の杜芝刈りの様子

●体育振興費

・スポーツ振興奨励事業

198万円

助成額拡充に伴い、増加分を追加しようとするもの。

★木村議員

問 申請者は増加しているのか。

答 昨年度までは対象とならなかった大会も対象となったことから、多くの人に利用していただいている。

簡易水道事業会計

●収益的支出

・漏水解析位置特定業務委託

473万円

・給配水管路等修繕

330万円

漏水解析の結果を受けて、給配水管路の漏水箇所を絞り込みを行い、特定した箇所の修繕を行おうとするもの。

★大和田議員

問 内容を確認したい。

答 漏水解析業務委託において43箇所は漏水の恐れがあるとされ、今回は箇所を特定するための解析を行うものであり、解析で特定された箇所の修繕を行おうとするものである。

★宮部議員

問 43箇所の漏水の恐れのある箇所は全村的に分布しているのか。

答 全村的に分布している。

★船田議員

問 村独自で定期的に検査することとも考えていく必要があると思うが。

答 ある程度漏水箇所の修繕が完了した後は、定期的な検査も検討していきたいと考えている。

～お金の使い道と施策の効果は～

令和4年度一般会計の歳入決算額は前年度比4566万円減の69億1687万円となり、歳出決算額は前年度比3863万円増の65億3828万円となりました。

また、ふるさと納税事業、まちなかキッチンスタジオ整備事業、道営担い手畑総事業など11事業の翌年度への繰越額は5億7153万円となりました。

歳入が減額となった要因としては、地方債の借入額が大幅に減額となったこと、歳出が増額となった要因としては、ふるさと納税寄附額の増額に伴い返礼品に係る経費が増額となったことが挙げられます。

一般会計の基金残高は32億9461万円で、前年度より1億4058万円の増加となりました。増加した要因としては、ふるさと納税で多額の寄附をいただいたことが挙げられます。

一般会計の地方債残高は、43億8413万円で、前年度より2億9294万円の減少となりました。減少した要因としては、役場新庁舎建設に係る地方債の一部を繰上償還したことなどが挙げられます。

なお、決算認定審査での質疑の主なものを掲載します。

総務費

●**庁舎の光熱水費が増えている要因は。**

★宮部議員

問 役場庁舎の光熱水費が前年度より大幅に増えているが、電気料の高騰が要因なのか。

答 電気使用量が1.2倍に増えている。特に12月と1月の平均気温が低かったことが影響したのではないかと考えている。

金額に換算すると、190万円のうち120万円程度が電気使用量の増加が要因で、残りは単価アップによるものである。

●**くるくる号の日曜試験運行の状況は。**

★大和田議員

問 1年間、日曜試験運行を行った状況や、利用者へのアンケート結果について確認したい。

答 実績は年間288人が利用し、1便当たりでは24人となっている。アンケートで一定の需要があったことから、令和5年度も引き続き日曜日の試験運行を継続することとした。



くるくる号

●**農村部の高齢者の足の確保について考えてもらいたい。**

★北嶋議員

問 農村部ではコミュニティバスを使える人が限られているが、村としてはどう考えているのか。

答 利用者の皆さんの意見を聞きながら、これからもコミュニティバスの運行形態を見直しながらやっていくというスタンスは変わらない。ご意見も参考にしながら、取組んでいくことになると思う。

●**ロッカノヨル来場者4000人の内訳は。**

★福原議員

問 昨年度の来場者4000人の内訳、村内・村外の内訳を確認したい。

答 また、今年度の想定人数は、来場者の内訳は村民が13.7%、十勝管内が78.7%、管外が7.6%となった。今年は1500人から2000人を目標にしている。



ロッカノヨル令和5年度ポスター

●**ふるさと納税返礼品の内訳は。**

★船田議員

問 人気のあった返礼品は。

答 寄附者の都道府県別の割合は、豚肉をはじめとする肉類が66.6%と圧倒的な比率になっている。

また、令和2年度の実績となるが、寄附者は三大都市圏で約57%を占めている。



ふるさと納税返礼品で人気の豚肉

●**返礼品の経費率が問題となっているが。**

★船田議員

問 ふるさと納税の返礼品の経費率が問題となっているが、村としてはどのように考えているのか。

令和4年度決算審査

答 経費率を50%以下に収める必要があるため、寄附額の見直しも必要であり、経費の削減も併せて取り組んでいかなければならないと考えている。

返礼品には肉類以外にも枝豆、チーズ製品などがあり、そういった物をどのようにPRしていくかということも続けていかなければならない。

◎ふるさと納税の経費とは

令和5年9月までは、ふるさと納税していただいた方に送付する返礼品、送料、サイト手数料などが経費の対象となっていたが、10月以降はワンストップ申請受付業務委託料、受領証明書の発行に係る経費も対象となる。

★民生費

●高齢者民間バス交通費助成を利用されている人数と効果は。

★船田議員

問 高齢者民間バス交通費助成に登録されている方の人数は。

また、この事業でどのような効果が出ているのか。

答 登録人数は令和5年3月末時点で289名となっている。

事業効果としては、定期的な外出につながったり、帯広までの通

院に係る交通費負担が少なくなり助かるという声をいただいている。

●民生委員の活動費を増やすことはできないのか。

★戸水議員

問 民生委員は大変な役務を担っている。

民生委員法第10条によると民生委員は無給とされているが、中札内村では条例で社会福祉員の活動費として年間9万3200円が支給されている。

活動費を増やすことを検討していただきたい。

答 本来に大事な役割を担っている。ただいているという認識をもっている。

すぐに増やすとは言えないが、他町村の状況を確認したい。

●福祉移送サービスの利用者が増えている要因は。

★大和田議員

問 福祉移送サービスが便利になり利用者が増えているが、福祉課としてはどのように捉えているのか。

答 一番大きな要因は、2日前の予約を基本にしつつ、当日、車が空いていれば利用を可能にしたことが、利用しやすさにつながり増加したと考えている。



福祉移送サービスを利用してふれあいサロンに参加する方々

●在宅医療介護連携推進事業では相談はどのぐらいあったのか。

★戸水議員

問 在宅医療介護連携推進事業とは、更別村との連携によりコーディネート者を配置して、村診療所及び村外の医療機関との入院支援、在宅介護の相談等に対応するというのが、実際の相談件数は。

答 コーディネーターの実績としては、実人数57人に対し、延べ77回の相談対応を行っている。

その他にも退院支援が主になるが、個別ケースとして16人の対応をしていた。

★衛生費

●特定検診受診率が高くなった要因は。

★宮部議員

問 特定検診の受診率が徐々に高くなってきている。

電話勧誘をするなど、担当者の努力によるものだと思うが、その他の要因は。

答 新型コロナウイルス感染症流行により低迷していたが、過去に受診された方を中心に訪問や電話で受診勧奨を行っている。

また、村立診療所と連携した特定検診の促しや検診データの受領を行っている。

他にも、住民課との連携による村立診療所通院者向けの情報提供書の作成・郵送、タニタ監修メニューの食事券の提供、教育委員会との連携による村内体育施設の減免などの取り組みを行っている。



健診結果と生活習慣病予防の工夫点を伝えています

～税金の使われ方は？主な決算質疑～

●有害鳥獣対策は近隣自治体との連携が必要である。

★北嶋議員

問 村が呼びかけて、有害鳥獣対策を近隣町村と連携して行っていたきたい。

答 エキノコックスの駆虫薬散布については、今後も更別村と連携し、撒く時期などを話し合いながら行っていきたい。

シカ対策は、大学にGPSの関係や近隣を含めて市町村で出来るのかという話をしてきている。

全体的な近隣町村への呼び掛けについては、状況把握等を含めて確認していききたい。

●猟友会の会員数の状況は。

★戸水議員

問 猟友会の会員数の増減は。また、会員が増えるような対策を検討しているのか。

答 会員数は横ばいである。ハンターも高齢化が問題となっている。現在は農業者を対象に駆除対策のための狩猟免許取得に対する補助金を交付しているが、農業者以外は対象とならないため、他町村の取組なども参考にしながら研究していきたい。



中札内村で捕獲されたクマ

●有害鳥獣対策に力を入れていたきたい。

★福原議員

問 ハンターの免許取得に対する助成などをもっと充実させて、有害鳥獣対策に力を注いでいたきたいと思うが、村の考えは。

答 ライトセンサス等のデータをとり込みながら、今後の対策をしていきたい。

被害への対策としては、猟友会のメンバーによる駆除しか方法がないので、ハンターを養成する措置を近隣町村の状況を調べながら検討しなければならないと考えている。

●ごみステーションでの資源ごみ収集回数を増やせないか。

★大和田議員

問 リサイクルセンターに資源ごみを持つていくのが大変な高齢者や、日曜日に持つていけない家庭もあるという現状がある。

十勝管内で月1回しか回収してないのは中札内村だけである。収集回数を増やすことは出来ないか。

答 本村ではリサイクルセンター（資源ごみ収集施設）を設置しており、村民の方には、資源ごみは水曜日と日曜日にリサイクルセンターに持ち込んでいただき、協働のまちづくりにご協力いただくというのが基本的なスタンス。

その中で、リサイクルセンターまでどうしても運ぶことができない人のために、ごみステーションでの収集を実施するようになった。今の段階で収集回数を増やすことには至っておらず、

村が取り組んでいる資源ごみの処理方法についてご理解いただきた

い。



ごみステーションの様子

●農林業費

●バイオマスに関する村の方針は。

★船田議員

問 北海道家畜バイオガスパラント事業推進協議会等の負担金を支払うことにより情報収集を行い、中札内村の方向性を検討されていると思うが、どのような成果があるのか。

また、村としてどのような方針で臨まれるのか確認したい。

答 バイオマス事業に関連する自治体で構成する協議会で、バイオガスパラントの稼働状況や実績などを情報共有する場となっている。

本村では、一法人が今年度、バイオガスパラントの建設を行っている。

平成29年に村内酪農家を対象に行った調査では、バイオマス事業に着手するとお金がかかり、消化液の問題もあることから、大きな動きにはなっていない。



バイオガスパラント建設工事の様子

令和4年度決算審査

●村営牧場の預託料収入の減をどのように捉えているのか。

★福原議員

問 大規模草地育成牧場の預託料収入が昨年と比べて1000万円ほどの減少になっている。減少の理由をどのように捉えているのか。

答 村内のいくつかの農場でヨーネ病という伝染病が発生しており、それらの牛を一時的に預かれない状況が続いていることが理

由として挙げられる。

また、昨今の生産調整により、酪農家が牛を手放している情勢もあり、育成牛が減少傾向にあると捉えている。

●村営牧場の飼養管理技術は素晴らしいと思っているが。

★福原議員

問 大規模草地育成牧場は飼養管理技術が高く、酪農家にとつて生産に寄与する立派な牛を育て

てくれるため、産業の基盤評価にもつながっていると考えているが、村の見解は。

答

大規模草地育成牧場の牛の生育調査等によると、5、6年前と比較してかなり良い成績になっており、酪農家とも情報共有している。次世代の酪農業を支えるのは育成牛であると村としても考えているので、育成牛の飼養管理、育成状況の把握は今後も農協も含めた関係機関と連携しながら情報共有を図っていき

●保安林の枝、雑木、下草の整理を。

★北嶋議員

問 保安林を畑の境界ぎりぎりまで植えてあるため、枝が張つて、下に雑木や雑草が生え、保安林の根が張るなどして、土地が使えなくなっている。

枝や下草を刈ったり、雑木を整理して、農地として利用できるようにしてもらいたい。

答

保安林の枝が畑の方に伸び、農作業のスプレーヤーなどに当たる等の相談は産業課にも寄せられており、支障木伐採委託等で枝払いを行っている。

保安林が境界ぎりぎりまで植えられている部分は、保安林の制度上切れない状況にあり、安易に切ってしまうと防風効果の問題もある。

村としても課題として捉えており、畑際の保安林については、可能なものは都度伐採しながら、植栽する時は畑からの距離を離すなどケースバイケースで対応している。

影響がなくなるまでには相当の時間を要するため、営農と共存できるような形で対応していきたい。

商工観光費

●商工業者等に対する光熱水費臨時助成制度を復活させることは出来ないか。

★戸水議員

問 近年、物価が上昇していて、特に原材料費が3倍ほどになり、商工業者等は困っている。

令和3年度に行った光熱水費臨時助成制度を令和6年度から復活させることで、物価上昇で困っている事業者等の手助けになると思うが検討できないか。

答

令和3年度は新型コロナウイルスの影響があったことから、臨時的な措置として、光熱水費の助成制度を設けて対応してきた。物価・原材料費が上昇しているのも事実であり、商工業者等と今後ヒアリングを行う中で、確認していきたい。



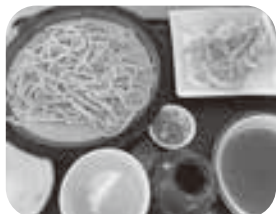
～税金の使われ方は？主な決算質疑～

●商工会とJAの連携地域活性化事業で開発されたメニューを現在も提供している店舗はあるのか。

★宮部議員

問 商工会とJAの連携地域活性化事業で、5店舗で新たなメニュー開発を行い、提供をしていたが、現在も続けて提供されているメニューがあるのか確認したい。

答 一部の店舗では、その時に提供したメニューをその後も継続して出している。



現在も提供されているメニュー

●エコ容器を使っている事業者を把握しているのか。

★大和田議員

問 プロモーション推進事業でイクアウト用品の申請が結構あったとのことだが、申請の中でエコ容器を使った事業者はどれぐらいいたのか。

答 令和5年度からプロモーション推進事業においてエコ容器に特化した補助要件を設けている。現在、事業実施中であり、容器の使用状況を村では把握していない。

土木費

●除雪業者との話し合いはしているのか。

★北嶋議員

問 現在、除雪業者は大変困っている。帯広でもかなり辞めていつていという話も聞いている。除雪業者が人を雇うためにはそれだけの経費が必要である。これまで話し合いをしてきたのか確認したい。

答 現在、村内7社で構成する企業体に除雪や道路維持を行っている。毎年11月に除雪の安全確保を目的とした会議を実施している。その時に今後の将来的な見込みも含めて、意見等をいただいている。意見を十分に踏まえながら、今後検討していきたい。



村内での除雪の様子



焼き砂散布の様子

●冬場に雨が降り、スケーリングのようになることがあるが。

★戸水議員

問 冬でも雨が降り、一晩で道路がスケーリングのような状況になることがある。

市街地の要所や農村部の交差点、日陰になっている箇所には焼き砂を撒いている。

多額な費用がかかっていると思うが、そういった状況になった時に普通の道路にも撒くなど対応できないのか。

答 気温が高く、雨になることもあり、パトロール等をしっかりと行って路面状況を把握している。昨年については、交差点付近や歩道で住民の方が転んだという事例も聞いている。そのようなことを踏まえ、パトロールを行う中で、適切に砂撒き、塩カル等を散布、管理をしている。

●民間賃貸住宅家賃助成制度を知らない人もいますのでは。

★宮部議員

問 民間賃貸住宅家賃助成制度で、54件から申請があり補助金を出していると説明があった。

54件は少ないように感じる。自己申請なので、出されていない方、知らない方もいるのではないかとと思うが、村ではどのように理解されているのか。

答 所得制限があり、職場から住宅手当が月1万5000円以上支給されている場合も対象外となっている。

また、行政区に加入して区費を納めることも条件となっているため、対象者でも申請していない方がいるのではないかと考えている。周知については、転入時に住民窓口で助成制度の周知を行うとともに、住基の異動状況を確認する中で、本村

に転入後3ヶ月を経過した後に、

ダイレクトメールで民間賃貸住宅

家賃助成に係る申請書

を送付している。



令和4年度決算審査



移住促進のポスター



●定住移住対策には企業誘致も必要ではないか。

★北嶋議員

問 村が定住移住対策に力を入れていることは間違いなが、働く場所が重要だと考える。過去には企業誘致をしたこともあったが、現在は難しいところもあると思う。定住移住対策と企業誘致をセットで考えていくことも必要でないか。

答 昔のように工場等を企業誘致することは困難であると思う。本村の基幹産業は農業であることから、その特徴を生かして、食に関する部分で新たに起業する方など、小規模かもしれないが、新規参入も含めて助成制度も設けている。助成制度に絡めて移住定住促進策を行うなど、地道かもしれないが、そのような取組みは行っている。

教育費

●コロナ禍で授業の遅れはあったのか。

★船田議員

問 学校において、コロナ禍の影響で授業が遅れたということはあるのか。

答 新型コロナの影響による授業の遅れはなかったと理解している。コロナで長期間休んだ生徒には個別に対応しており、体調が少し良くなれば、タブレットにより自宅で授業風景をリアルタイムで見られるようにしていた。小学校低学年は、放課後に数日間の個別指導を行うなどして補ったと聞いている。

●上札内交流館管理委託費の内訳は。

★福原議員

問 上札内交流館管理委託の経費の内訳は。

答 人件費が約500万円、燃料費が約300万円、清掃や暖房機保守点検、機械警備などの委託費が約75万円、修繕費が約6万円となっている。

その他、消耗品や交流館の自主主催事業の経費として5万5000円があり、諸経費を足して委託料となっている。

●文化創造センターの光熱水費が増加した要因は。

★大和田議員

問 文化創造センターの光熱水費が高額になっているが、どの場所で電気代が多くなっているのか。

答 文化創造センターは施設が大きいいため、電気使用量も多く、単価が上昇すれば、料金も大幅に増加する。

令和4年度は住民による様々な自主企画やピアノの個人利用も増えており、ハーモニホールの利用が増えたことで電気使用量が増加したことが要因と考えている。

公共下水道事業会計

●下水道の濁度は薬剤を使わないと下がらないのか。

★宮部議員

問 企業が前処理をすることで、下水道の濁度が少し改善されてきているという話があったと思うが、やはり薬剤を使わないと濁度が下らないのか。

答 濁度は令和3年度に比べると若干下がってきている。また、沈降剤の使用量についても、約2000リットル減っている。

担当職員が指定管理者と協力しながら、沈降剤の使用を抑えることができるかどうかも含めて対応してきている。

本会議で決算認定審査の結果、各会計決算は可決され認定されました。決算質疑の内容が、本年度の事業及び令和6年度予算へ反映され、より良いまちづくりへと発展するよう、議会としても引き続きチェック機能を発揮していきます！

9月定例会の一般質問は3人の議員が登壇。
紙面の都合により、内容を要約して
お知らせします。

※詳しい内容はコチラ



村政のここを教えて !!

一般質問



おおわだ しょうこ 議員
大和田 彰子

「キッチンスタジオ」の運営の在り方について

11



ふくはら かずよし 議員
福原 一斉

上札内放課後児童クラブについて

12



ふなた こういち 議員
船田 幸一

中札内村の世帯数と人口の現状と
今後の対策について

13

一般質問 とは？

議員が村政全般にわたり、執行機関（村長・教育長）に対して事務の執行状況及び将来に対する方針等について所信をただし、あるいは報告、説明を求め、疑問点をたずねることです。

年4回開かれる定例会でのみ行われます。

大和田議員

多くの住民から活用される施設の運営を

村長 指定管理者制度の導入でサービスの向上をはかる

現在キッチンスタジオの建設が進み、住民からの期待や関心が集まっているところです。この建設にあたり、「一人と人を食でつなげるまちなかにぎわいづくり」をコンセプトに、だれもが気軽に利用しやすい憩いの場を目指すとしていることから、今後の運営について次の点を伺います。

問 運営は指定管理者を想定しているようですが、募集はいつ頃を予定しているのか、また、選定方法はどのように考えていますか。

指定管理者を導入することによって利用する村民にはどのようなメリットがあると考えていますか。

◎指定管理者制度とは

村の公共施設や、一般住民が利用する関連施設（公の施設ともいう）を民間に委託し、管理や運営を行う制度で、民間の持つノウハウを活用し、住民サービスの向上を図り、併せて自らの事業展開を行うことで、経費の節減を図ることを目的として導入された制度。



8月に実施された地域食堂のにぎわいの様子

答 指定管理者の募集期間は9月11日から10月16日までとし、10月末に指定管理者選定委員会（庁内課長職等で構成）を設置して、応募した事業所から応募動機や今後の様な施設運営、事業展開を行っていきたいかを提案説明していただき審査選定を行います。

最終的には、12月定例議会に提案し決定する予定です。指定管理者制度導入により、管理運営に加え、独自の事業展開ができることが住民のメリットであると考えています。

問 住民説明会では、料理教室やミニ講習会の他、親しい仲間との談話やサークル活動、給食交流会や地域食堂などの活用方法が説明され、住民も理解していました。指定管理者の公募にあたり仕様書（※）にはどのような条件を提示するのですか。

答 仕様書の管理運営業務内容については、施設の総合管理、村主催事業への協力、各種料理教室等の企画運営等を盛り込んだ事項を規定します。

なお、実際の運営に当たっては、選定後に当該管理者と協議し、より具体的な管理運営方法を盛り込んでいく予定です。

*その他条件、応募資格については下記表のとおり。

※仕様書

備えるべき機能やその性能、特性、満たすべき要件などを文章などで記述した文書



講習会の様子

◆指定管理者制度

公募条件、応募資格

◎指定管理期間
令和6年4月1日～
令和9年3月31日までの3年間

◎法人のほか構成員が5人以上の団体とし、村内に主たる事務所を有すること

◆選定基準について

◎利用者の平等な利用確保およびサービスの向上が図られること

◎施設の効用を最大限に発揮するものであること

◎適切な維持管理ができ、管理経費の縮減が図られるものであること

◎安定した管理を行うため、人員規模、資産、経営能力等を有していること

福原議員

村長

上札内放課後児童クラブの存続を 見守りスタッフの配置を考えている



上札内放課後児童クラブの様子

答 現在、令和6年度からの在り方に関して、上札内小学校の保護者の皆さまと協議を進めているところです。

いただいたご意見・ご要望ですが、第一に上札内放課後児童クラブの存続、併せて、見守りスタッフ配置の具体提示を求める内容となっています。

村としては、長期的な視点で方向性を協議し、放課後児童クラブは中札内村児童館一カ所での運営とすること、上札内交流館においては、子どもたちの「見守りスタッフ」を配置することを基本的な方針とし、放課後の児童の居場所の一つとして利用できる体制づくりを進める考えをお示ししました。

スクールバスの通常運行を活用した上札内小学校を発着とする送迎体制の確保も検討しています。

協議中の案件で流動的な要素はありますが、今後も保護者等にご理解いただくため、努力する所存です。

問 一本化の方針に関して十分に協議をされてきましたか。

答 村としては総合的な観点から協議をしてきていますが、人員募集などは現在のところまだ行っていない。

問 理由など疑問に感じることも多いですが、方針の決定に問題はありますか。

答 メリットしかないと考えています。交流館事業を充実させて、より良いものにしたと考えて決断させていたできました。

児童の制度が大事なのか、子供の居場所が大事なのか、どうお考えですか。

問 親が安心して預けられる事が大事と考えます。現在出されている素案では不安しか感じないと思いますが。

答 今後も保護者等との意見交換で深めていかなければと考えています。

問 交流館側は認識していますか。

答 今後の交渉次第かなと考えています。

問 地域住民へ説明がされていませんか。

答 まずは保護者、PTAと話をするという認識で説明をしてきています。今後の説明会に地域住民の参加も大丈夫であると伝えていきます。

昨年から協議を続けており、一日も早い合意形成をお願いします。



上札内交流館

問 現在までの協議の経過と進捗状況、保護者や地域住民などから上がっている要望、村として提案している対応策は。

上札内放課後児童クラブの運営を委託されている「フロンティア会議」が本年度いっばいで撤退の意向であることを聞いています。

協議中の事案であることは承知していますが、いわゆる学童は、学校とともに地域住民や子育て世代にとって重要な社会基盤の一つであると考えことから、次の点について伺います。

船田議員

中札内村の人口減少に対する今後の対策は

村長 「少子化ストップ元年」として掲げた施策を中心に取組む

中札内村の世帯数と人口の現状と今後の対策について、本村の第7期まちづくり計画関連事項を含め、次の点について伺います。

問 現状の世帯数と人口について。

答 人口減少の流れは抑制できており、十勝の市町村では唯一4年連続で転入が転出を上回る社会増を記録しており、『第7期まちづくり計画』の計画最終年となる2029年度の目標人口は3800人としていますが、達成を見込める状況にあるのではないかと受けています。

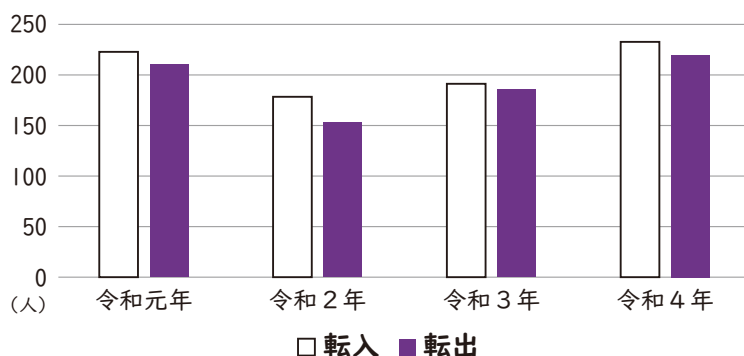
問 今後の少子高齢化対策について。

答 本村においては、出生数が減少局面に入ってから50年となる今年2023年を一つの節目と捉え、今年度を「少子化ストップ元年」と位置付けて、全庁的に少子化、子育て支援に取り組んでいます。



若手交流会の様子

中札内村の転入・転出者数



問 人口減少の要因と基幹産業従事者等の未婚化の傾向について。

答 本村における人口減少については、国内全体の潮流と同様に、本村においても出生数の減少と高齢化の進行に伴う死亡者数の増加により、自然減が拡大していることが主な要因と捉えています。

世帯数については、核家族化などにより、本村を含めて全国的に増加傾向にあります。また、商工会青年部では、商工業者に限らず、農業者、JA職員、役場職員などの村内の若者が一同に集い、交流を図る事業を令和4年度に始め、村内での出会いと仲間づくりが進められています。

近年は結婚に対する個人の考え方も変化していますが、本村では、結婚を望む方の選択肢の一つとして、引き続き婚活事業や婚活制度の周知に努め、出会いの場から結婚に繋がるよう支援に取り組めます。



問 移住・定住後の高齢者への施策について。

答 令和4年度から更別村と共同で在宅医療・介護連携コーディネーターを配置し、高齢者の入退院をサポートできる体制づくりを行っています。

更に、要介護認定を受けた高齢者へも、ケアマネジャーがサービスの調整を行い、村内のご自宅での暮らしを続けられるよう支援しています。

今年度は職員が直接地域へ出向き、高齢者の方に数多くの意見をいただく機会を設けるように努めています。

今後についても、介護が必要になってもできるだけ自分らしい生活を続けられるよう、医療や介護、生活支援のサービスを提供する関係機関等と連携しながら、高齢者を地域で支えていきたいと考えています。

令和5年9月定例会

各種委員会委員の選任・任命、条例改正、意見書などを可決

報告

中札内村議会9月定例会で報告、可決された議案（各種委員会委員の選任や任命、条例改正、請願・意見書）について、概要を掲載します。

●令和4年度中札内村健全化判断比率及び資金不足比率

地方公共団体の財政の健全化に関する法律第3条第1項及び第22条第1項の規定により報告するもの。

◎健全化判断比率とは？

財政の健全化に関する比率で数値が大きいほど財政状況が悪いとされている。（4指標）

中札内村では赤字が発生していないことから3指標は数値化されていない。残りの1指標は基準を下回っている。

◎資金不足比率とは？

簡易水道や公共下水道の公営企業の資金不足を指標化したもので、経営状態の悪化の度合いを示すもの。

中札内村では経営状態が良いため、指標化されていない。

各種委員会の委員

●監査委員

木村 誠氏（再任）

現委員が、10月31日をもって任期満了となることから、同氏の選任に同意しました。

（任期 4年）

●固定資産評価審査委員会委員

片山 勇一郎氏（再任）

現委員が、9月30日をもって任期満了となることから、同氏の選任に同意しました。

（任期 3年）

●教育委員会委員

濱本 晴美氏（再任）

現委員が、9月30日をもって任期満了となることから、同氏の選任に同意しました。

（任期 4年）

条例改正

●中札内村特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例等

子ども家庭庁設置法の施行に伴い、関係法律が整備され、子ども家庭庁に所掌事務も移管されることから、現行条例の内容を調整する必要があるため、本村条例の一部を改正するもの。

◎所掌事務とは？

国や地方公共団体などの特定の機関によって行われるべき事務。

規約の変更

●北海道市町村職員退職手当組合規約の変更

新たに「後志広域連合」が加入したことに伴い、組合規約の変更を行うもの。

意見書

●ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書

●国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書

提出者 宮部 修一

賛成者 大和田 彰子

★意見書は採択となり、関係大臣並びに関係機関に提出しました

請願

●義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元、「30人以下学級」など教育予算確保・拡充と就学保障の実現に向けた意見書の採択を求める請願

提出者 中札内村地区連合会

紹介議員 木村 優子

★同趣旨の意見書を関係大臣並びに関係機関に提出しました



議会活動報告

産業文教常任委員会

村内農作物作況調査

産業文教常任委員会（委員5人）では、9月6日に十勝農業改良普及センターのご協力をいただき、今年の農作物の作況を調査しました。

●小麦

小麦は稈長、穂長、穂数が平年並み以上で、収穫作業は好天にも恵まれ、短期間の5日で順調に進み、収量は前年を105kg上回る。

●豆類

豆類は7月下旬の連日の猛暑の影響で、干ばつ傾向が見られたことから生育状況が懸念されました。大豆は茎長が長く、着莢数が平年より多く、収量は平年並みからやや多い見込みである。小豆はやや徒長傾向で着莢数は平年より少なく、収量は平年並みの見込みである。

●馬鈴しょ

馬鈴しょ（澱原専用品種）は、収量、澱粉価ともに前年を上回る見込みである。

●てん菜

てん菜は、8月の高温や多雨の影響で褐斑病が広く発生したが、根周は前年並以上となり、収量は平年をやや上回る見込みである。

●飼料作物

牧草の収量は平年を上回る見込みであるが、干ばつの影響で乾物重量は平年より少ない見込みである。デントコーンは、生育が順調に進み、収量は平年をやや下回る見込みである。



圃場を見学し、農業改良普及センターの方から説明を受けました

新篠津村議会と津別町議会が視察来村

8月28日に石狩管内の新篠津村議会（議員7名）の皆さま、10月2日にオホーツク管内の津別町議会の総務文教常任委員会（委員5名）と議長が視察のために来村されました。

◆新篠津村議会

新篠津村は、基幹産業が農業で、米、小麦を中心に豆類、野菜や花き栽培が盛んで、農薬や化学肥料を極力使わない、安全・安心な農産物の生産を行っています。人口減少に伴い、18歳までの医療費無料などの子育て支援施策や支援金支給などの移住定住対策に取り組んでいます。

本村へは、議会DXの取組みなどに對する調査のために視察来村され、活発な意見交換がされた後、次の視察地に向かわれました。



新篠津村議会の皆様と

◆津別町議会

津別町は、基幹産業が農業・林業・木材加工業です。

農業では有機野菜やオーガニック牛乳、つべつ和牛が有名です。

総務文教常任委員会



ふるさと納税の取組みについて説明

また、林業・木材加工業では、磨かれた高い技術力が津別ブランドとして道内外に知られています。急激な人口減少に伴い、中学3年生までの医療費無料、妊産婦への各種補助制度などの子育て支援施策や高齢者に対する見守りや交流活動、居場所づくり、困りごと相談などの取組みを行っています。本村へは、ふるさと納税の取組みに對する調査のために視察来村されました。

活発な意見交換を行いました！

8月24日に中札内村商工会の理事の皆さま（10名参加）と意見交換会を開催しました。

議会報告会では令和5年6月定例会の一般質問を中心に報告し、その後の意見交換会では、まちなかキッチンスタジオの外構整備やメインストリートの賑わい（空き店舗対策）、普段の生活の中で不便に思うことなどについて、理事の皆さまと意見交換を行いました。

村議会としては、今後も各種団体やグループだけでなく、多くの村民の皆さまと意見交換できる場を設け、幅広い世代の方からご意見をいただく中で議会改革を進めていきたいと考えております。



商工会理事の皆さまとの意見交換会を初めて実施しました

次の定例会は12月です！

日程が決まりましたら情報無線等でお知らせします。

どなたでも傍聴できますので、気軽に議場へお越しください。

議会中継はYouTubeでも配信しており、「中札内村議会」で検索できます。

また、下記のQRコードからもアクセスできます。



中札内中学校3年生一般質問を傍聴

9月8日、中札内中学校3年生（32名）が、11月に予定されている模擬議会の事前学習として一般質問を傍聴しました。

真剣な眼差しで、議員と村長のやり取りに耳を傾けていました。



— 生徒たちの感想を一部掲載します —

● 議員の方が真剣に村の未来にむけて考えているのが分かった。

● 今までこのような議会が行われていることをあまり知らなかったし、見たこともなかったの、自分の目で見て体験できて良かった。

● 中札内村の現状や未来のことなどを聞けて「なるほど」と思った。

● 今まで決められてきた事業は、今日の議会のように沢山の話し合いを重ねて決められてきたことを知った。

● 村や村民のことを常に最優先に考えていて素晴らしいなと思った。自分たちも議員さん方のように少しでも村や村民に役立てるような提案をしたいと思う。コストや安全面などのメリット、デメリットもわかるし、意見も対立しているが、より良い未来のための話し合いでとても良い時間だった。

編集後記

9月定例会の8日に行われた一般質問で村長が行使した「反問権」について、ある新聞記者が、分かりやすい議論のため、ルールの中で議員への反問権、大に行使すべしと書かれていました。

また、その記事では各地の一般質問を聞いてはがゆいのは、質問と答弁が噛み合わずにだらだらと続いていることと書かれていましたが、私はそうは思いません。それぞれの議員達は村民や町民の代弁者として真剣に議員活動をしており、それぞれの想いを伝えるために力が入り過ぎることもあるでしょうが、決してだらだらしているわけではありません。

中札内村議会会議規則第62条の2には「議長から本会議への出席を要求された村長等は、議長の許可を得て、議員の質問に対して論点、争点を明確にするため質問をすることができ」とあります。

「論点・争点を明確にするための質問」と言う所の解釈を、今後議論していかなければならぬと思っていますが、反問権を否定する訳ではありません。

活発で分かりやすい議論のために、質問する側も、答弁する側も、議会のルールの中で熱い議論をしていただきたい。二元代表制の一翼を担う議会としての権限や機能を充実させるため、議会の活性化に今後もしっかりと取り組んでいきたいと思っています。

（中井 康雄）